

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第8号（タバココナジラミ）を発表しましたので、送付します。

病害虫発生予察 注意報第8号

- 1 農作物名 トマト，ミニトマト，ナス，ピーマン，キュウリ，メロン，サヤインゲン  
2 病害虫名 タバココナジラミ  
3 予報内容

- (1) 発生地域 県本土  
(2) 発生量 多

4 注意報発令の根拠

- (1) 10月中旬の調査で、露地野菜（サヤインゲン，カボチャ），施設野菜（ナス，キュウリ，ピーマン）ともに発生ほ場率が高く，サヤインゲンでは発生程度の高いほ場がみられた。  
(2) 本虫はトマトとミニトマトにトマト黄化葉巻病ウイルス（TYLCV）を媒介し，ミニトマトでは果実に着色異常を引き起こす恐れがある。サヤインゲンでは莢に白化症を生じ（平成19年9月20日付け技術情報第10号参照），キュウリとメロンでは葉に黄化症を生じる恐れがあるなど多くの作物に深刻な被害をもたらす。  
(3) 一部の地域では，ミニトマトでトマト黄化葉巻病の発生がみられている。  
(4) 向こう1か月の気温は高いと予報されており，多発する恐れがある。

表．タバココナジラミの発生ほ場率

作物名	本年	前年	平年
カボチャ (露地)	61	94	34
サヤインゲン (露地)	83	67	43
ナス (施設)	100	86	-
ピーマン (施設)	47	63	-
トマト (施設)	67	67	-
キュウリ (施設)	88	63	21

調査時期：10月中旬

5 防除上注意すべき事項

- (1) 施設ではハウス開口部（サイド等）から侵入することが多いので，黄色粘着トラップを設置し，早期発見と初期防除に努める。  
(2) ほ場周辺や施設内の雑草は，生息場所になるので除草する。  
(3) 強い薬剤抵抗性を持つバイオタイプQの発生がナス，ピーマン，トマト，ミニトマト，キュウリ，メロン及びサヤインゲン等で確認されており，防除が困難な場合は本虫の発生を疑い，これを対象に防除する。なお，薬剤は平成19年9月11日付け技術情報第9号を参照する。  
(4) 農薬の使用に当たっては，総使用回数等の安全使用基準を厳守する。  
(5) 同一系統薬剤の連用を避け，作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。